

テレワークの普及促進

地域にテレワークを広めるため、県民・企業双方に向けたセミナーの開催やワーカーが相互に交流・学習ができる「集いの場」を新設し、テレワークの普及促進を図ります。

○年間スケジュール

2018年度	県民のみなさまへ (自営型※ ¹)	企業のみなさまへ (雇用型※ ²)
6月	① テレワークフェアの開催 (概ね2ヶ月前から案内)	
7月	② ワーカー養成研修の実施	
8月～	③ 「集いの場」の開催 (～3月まで毎週)	
11月		④ 雇用型テレワーク普及セミナー の開催 (概ね2ヶ月前から案内)
年間を通して		⑤ 出前講座の実施(社労士と連携)

※1 自営型とは、自宅等でフリーランスとしてテレワークに取り組むこと

※2 雇用型とは、雇用されている従業員が、自宅や出先等オフィス以外の場所で業務に取り組むこと

ハッピーワーカー

検索

○事業紹介

① わかやまテレワークフェア

テレワークによる働き方を初心者向けに紹介

仕事の流れや受注のコツなどの概要説明、先輩ワーカーと意見交換の場を創出

・和歌山会場、田辺会場 計200人程度



わかやまテレワークフェア
(2016.11.28 開催)



フォローアップ研修会
(2018.2.7 開催)

② ワーカー養成研修【新】

意欲的なフェア参加者を対象に、ワーカーの養成研修を実施(1講座 3日間)

クラウドソーシングサイトへの登録方法や受注のコツなど、仕事の基礎やメールマナー等を学習

・和歌山会場2回、田辺会場1回 計3回 全体で60人程度養成

③ 集いの場の開設【新】

養成研修を受講したワーカーの継続就業を支援するため、ワーカー同士やメンターとの相互交流、学習ができる場を開設

メンターとの交流、テレワーク講師を招いた学習会（ITリテラシー等）、社労士・税理士の講座等を実施



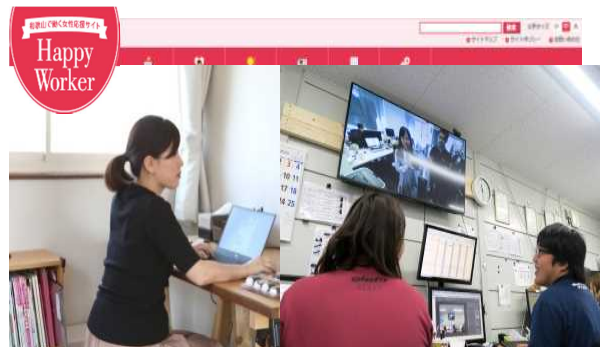
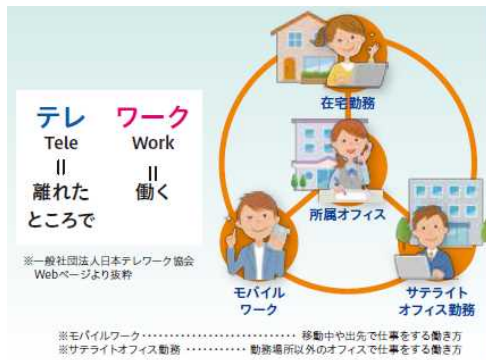
先輩ワーカーとの交流（メンター支援）

④ 雇用型テレワーク普及セミナー【新】

企業に雇用型テレワークを広めるため、周知啓発や導入を支援するセミナーを開催
企業がテレワークを取り入れる意義・ノウハウ等の説明や先進事例の取組等を紹介

⑤ 出前講座（社会保険労務士と連携）【新】

県内各地で行われる経済団体の会議等で、社会保険労務士と連携して雇用型テレワークの普及啓発や導入を検討する企業へのアドバイスを実施



テレワーク導入企業 Happy Worker紹介例
(育児中の女性従業員にテレワークを提供)

‘17

<実績>

2017.7	わかやまテレワークフェア	フォローアップ研修	62人参加
2017.11	わかやまテレワークフェア		248人参加
2018.2	わかやまテレワークフェア	先輩ワーカーとの交流会	81人参加

働きやすい雇用環境の整備促進

若者・女性・シニア世代全ての労働者が、持てる能力を十分に発揮して生産性の高い働き方ができるよう、働き手の視点に立った雇用環境の整備や業務の効率化など、それぞれの企業の特徴に合った「働き方改革」を促進します。

○年間スケジュール

2018年度	
1月～2月	① 働き方改革・ワークライフバランスセミナーの開催 (概ね2ヶ月前から案内)
6月～3月	② 専門家企業派遣の実施
年間を通して	③ 出前講座の実施

ハッピーワーカー

検索

○事業内容

① 働き方改革・ワークライフバランスセミナー

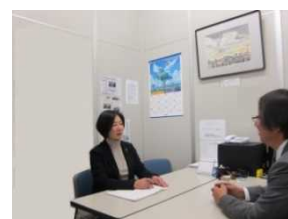
先行的に取り組む県内企業の経営者等を招き、ノウハウ等を周知する研修を開催

- ・対象：企業経営者、人事労務担当等 200人程度
- ・開催地：和歌山市、田辺市

② 専門家企業派遣

業務効率化や就業規則の見直し等を行う企業に専門家（社会保険労務士）を派遣し取組を支援

- ・対象：県内中小企業 30社



専門家企業派遣
(企業を訪問してのアドバイス)

③ 出前講座

経済団体等で出前講座を実施

企業が働き方改革に取り組む意義やメリットなど、県内中小企業の取組事例や国の支援制度等も交えて講話



出前講座
(2018.1.19 開催)

④ WEBサイト「Happy Worker」で県内企業の取組を紹介

雇用環境改善に取り組む県内企業の事例をWEBサイトで紹介。やりがいを持って活発的に働く従業員の姿も紹介



WEBサイト『Happy Worker』

⑤ 啓発パンフレットの作成・配布

県内企業の取組事例を盛り込んだ啓発パンフレットを作成



2017 多様で柔軟な働き方
パンフレット

早朝からの時差出勤等、柔軟な働き方を提供

子育て 応援 **職場 環境の 充実**

主な取組 ● **育児との両立支援**

育休復帰後の社員に時短勤務、早朝からの時差出勤等の制度を活用させている。



● **在宅テレワーク導入**



育児中の女性のためにテレワークを導入し、仕事との両立を図っている。

職員の声

テレワーク導入により、通勤時間の削減や育児との両立ができるようになった。



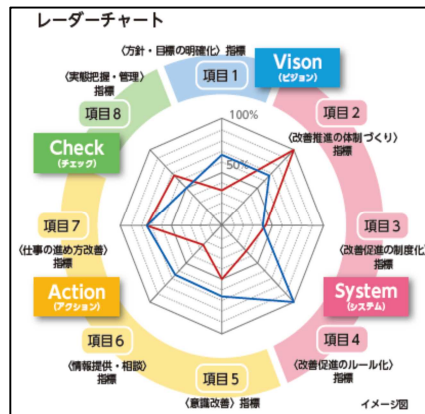
取組のきっかけ・今後の取組

生産性、社員の定着率向上のために、社員の意見を聞きながら取組を実施してきた。今後も柔軟に対応していく。

パンフレットにおける企業の取組事例紹介イメージ (抜粋)

⑥ その他

活用できる助成金、改善に向けての自己診断ができるポータルサイトなど、随時情報発信



(一例)
課題を抽出し、対応の方向性を例示するチェックシートの活用を案内

‘17

<実績>

2018. 1～2	働き方改革・ワークライフバランスセミナー	企業関係者等 245 人参加
2017. 6～2018. 3	専門家企業派遣	30 社を支援
2017. 4～2018. 2	出前講座	9 回実施 企業関係者等 353 人参加
通年	WEBサイト「Happy Worker」	新規登録企業 16 社 (累計 32 社)

労働者福祉の向上、人権尊重の企業づくり

正しい労務管理手法や労働関係法の最新情報等を周知することにより、労使間の紛争・トラブルを未然に防止し、雇用管理の改善を図ります。

また、企業活動に密接な関わりのある人権問題やハラスメントをテーマとした研修会を開催し、人権意識の高い企業づくりを促進します。

○年間スケジュール

2018年度	
1月～2月	① 労働セミナーの開催
10月～11月	② 企業における研修責任者に対する人権研修会の開催

※①②ともに概ね2ヶ月前から開催案内

○事業内容

わかやま企業応援ナビ 働き方改革したい

検索

① 労働セミナー

労働関係法及び労務管理手法等をテーマとした講習会を開催

企業が知っておくべき労務管理の基本事項や労働基準法など労働関係法令の改正内容、最近の動き等を説明

- ・開催テーマ(例)：働き方改革関連法案の最新情報、労働契約法改正内容等
- ・対象：企業経営者、人事労務担当者等

働き方改革関連法案ポイント

労働基準法、パートタイム労働法、労働契約法、労働者派遣法等の法律を改正

長時間労働の是正	残業時間の上限規制	残業は年 720 時間までに制限 ※自動車運転業務、建設事業、医師等について、猶予期間を設けた上で規制を適用等の例外あり ・「時間外労働等改善」取組企業へ国の助成金(2018年度～最大 200 万円に拡充)
非正規雇用の処遇改善	同一労働同一賃金の実現	正規と非正規による不合理な待遇差を解消 ※同じ仕事をすれば正規・非正規に関係なく、賃金や待遇を同じにする。



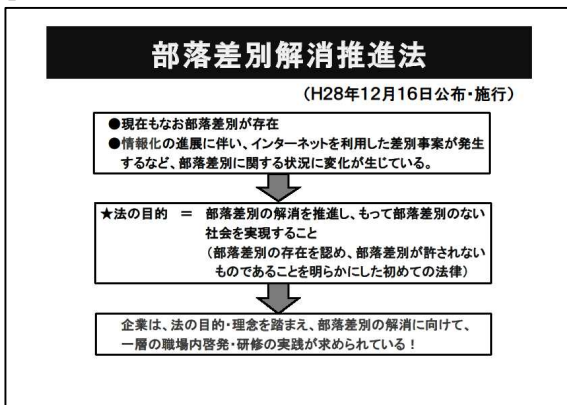
労働セミナー
(2018. 2. 1 開催)

② 企業における研修責任者に対する人権研修

人権問題への正しい認識や職場のハラスメント対策等、企業が取り組むべきことを学習する研修会を開催

企業で取組を先導する研修責任者が、研修の成果を企業内で生かすことで一人ひとりの従業員の理解を深め、人権意識の高い企業づくりを促進

- ・研修テーマ（例）：同和問題、様々な人権問題、パワハラ・マタハラの対策等
(障害者の雇用、インターネットと企業の個人情報管理等)
- ・対象：企業における研修責任者
- ・開催地：県内9会場（和歌山市（2回）、海南市、橋本市、岩出市、湯浅町、御坊市、田辺市、新宮市、串本町）
- ・労働局の公正採用選考人権啓発推進員研修と共催



企業人権研修（資料イメージ）



職場のパワーハラスメントの予防・解決に向けたポータルサイト「あかるい職場応援団」

③ 労働相談の実施

労働条件、解雇、退職、労働福祉など労働問題全般に関する疑問・トラブルについて、労働者・事業主を問わず、専門の相談員がアドバイスを実施

- ・相談方法：「電話」及び「面談」による相談
- ・利用時間：火～金曜日 16:00～20:00、土・日曜日 10:00～16:00
- ・場所：和歌山県労働センター 1階 労働情報センター内
(和歌山市北出島1-5-46)
- ・電話：073-436-0735

‘17

<実績>

2018. 1～2	労働セミナー（和歌山市 田辺市）で開催	労使関係者 245 人参加
2017. 10～11	企業における研修責任者に対する人権研修	県内各地域で 10 回開催 752 人参加
通年	労働相談件数	235 件 ※2018.2月末時点